



## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月14日

上場会社名 株式会社セイファート 上場取引所 東  
 コード番号 9213 URL <https://www.seyfert.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 高志  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部部長兼経理部部长 (氏名) 西山 一広 (TEL) 03-5464-1490  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月29日 配当支払開始予定日 2022年3月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,284	3.6	264	208.0	252	84.5	145	316.2
2020年12月期	2,204	△15.7	85	△48.0	136	7.0	34	△50.9
(注) 包括利益	2021年12月期		148百万円( 361.4%)		2020年12月期		32百万円( △54.4%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	161.23	—	33.3	12.0	11.6
2020年12月期	38.74	—	9.6	6.2	3.9

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 -1百万円 2020年12月期 -1百万円

- (注) 1. 当社は2021年10月6日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことにより期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	1,879	500	26.7	556.58
2020年12月期	2,342	370	15.8	411.87

(参考) 自己資本 2021年12月期 500百万円 2020年12月期 370百万円

- (注) 当社は2021年10月6日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	234	△42	△639	1,123
2020年12月期	148	△71	210	1,563

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00	18	51.6	5.0
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	20.00	20.00	18	12.4	4.1
2022年12月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 当社は2021年10月6日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。  
 2. 現時点では2022年12月期の配当予想については未定であります。

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通 期	2,364	3.5	268	1.3	245	△2.7	165	14.0	128.93

(注) 1株当たり当期純利益については、公募増資株式数(420,800株)を含めた期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）株式会社G3D Japan

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期	900,000株	2020年12月期	900,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	900,000株	2020年12月期	900,000株

(注) 当社は、2021年10月6日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	2,183	2.9	261	147.0	242	66.8	137	121.6
2020年12月期	2,123	△14.5	105	△34.4	145	13.4	62	△18.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期	152.89	—
2020年12月期	68.99	—

- (注) 1. 当社は2021年10月6日付けで普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。  
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことにより期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	1,910	540	28.3	600.76
2020年12月期	2,375	420	17.7	467.70

(参考) 自己資本 2021年12月期 540百万円 2020年12月期 420百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、2022年2月24日(木)午前10時より、機関投資家向けの決算説明会(Web説明会)を開催する予定です。当日の説明資料については、説明会開始時刻までに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及に伴う感染者の減少や各種政策の効果等により、緩やかな回復傾向にありました。しかし一方で、新たな変異株が確認されるなど依然として予断を許さない状況も続いており、今後の経済情勢についても、先行き不透明な状態が続くものと想定いたしております。

当社グループの属する美容業界におきましては、長期化した新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策による美容室営業体制の多様化や、顧客の消費マインドの冷え込み等による影響を受け、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境のもと、当社のサロンサポート事業は「美容業界および関連市場の活性化の促進」のため、美容室経営企業に向けた「広告求人サービス」の拡大、優秀な美容師人材の「紹介・派遣サービス」による美容室経営サポート、美容業界向け「教育(その他)サービス」による教育機会の提供等により、美容業界の活性化を促進するための取り組みを継続いたしております。

当連結会計年度におきまして、「広告求人サービス」の収益の柱である美容師に特化した求人サイト「re-request/QJ navi」は、美容室経営企業からの採用ニーズが復調したことを受けて、広告掲載件数の増加、及び掲載単価の上昇により、売上高は前連結会計年度と比べ伸長いたしました。また、同サービスの第2の柱である「新卒採用商品」の「re-request/QJ 就職フェア」においても、リアルフェアとオンラインフェアを組み合わせ日本全国の主要都市で当該フェアを開催したことにより、開催回数及び参加企業数は前連結会計年度より増加いたしました。それに伴い、全国の約9,200人(前連結会計年度比58.0%増)の美容学生と、美容室経営企業を結びつける機会を創出することができました。

「紹介・派遣サービス」における美容師派遣サービス「re-request/QJ casting」は、新型コロナウイルス感染症による美容室の営業体制変更や、顧客の来店人数制限の影響が、当初想定した期間を超えて継続したことにより、サービス需要の回復に時間を要しております。

「教育(その他)サービス」におきましては、美容学校及び美容室経営企業との関係性を深めるため、City&Guildsに係る「資格認証」のプログラムを導入する美容学校を増加させることで、産学協同の普及に尽力いたしております。

関係会社であるSEYFERT International USA, Inc. (米国)の美容室運営については、アメリカ国内における新型コロナウイルス感染症対策の影響による、店舗の営業体制変更及び顧客の来店人数制限等により、来店客数が想定を若干下回って推移いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における当社グループの連結業績につきましては、売上高2,284百万円(前連結会計年度比3.6%増)、営業利益264百万円(前連結会計年度比208.0%増)、経常利益は252百万円(前連結会計年度比84.5%増)となり、特別利益として在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益1百万円、特別損失として新型コロナウイルス感染症による損失19百万円、建物及び構築物の減損損失3百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は145百万円(前連結会計年度比316.2%増)となりました。

なお、当社グループは、サロンサポート事業並びにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産の部

当連結会計年度末における資産合計は1,879百万円となり、前連結会計年度末比で463百万円の減少となりました。

##### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産合計は1,549百万円となり、前連結会計年度末比で474百万円の減少となりました。これは主に、借入金の返済により現金及び預金が440百万円、並びに有価証券の償還により20百万円減少したことによるものであります。

##### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産合計は330百万円となり、前連結会計年度末比で10百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金資産が7百万円減少した一方で、ソフトウェア仮勘定が13百万円、並びに工具、器具及び備品

(純額)が7百万円増加したことによるものであります。

## ②負債の部

当連結会計年度末における負債合計は1,378百万円となり、前連結会計年度末比で593百万円の減少となりました。

### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債合計は1,101百万円となり、前連結会計年度末比で416百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が30百万円増加した一方で、短期借入金が300百万円、1年内返済予定の長期借入金が92百万円、前受金が24百万円、並びに1年内償還予定の社債が10百万円減少したことによるものであります。

### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債合計は276百万円となり、前連結会計年度末比で176百万円の減少となりました。これは主に、退職給付に係る負債が12百万円増加した一方で、長期借入金が152百万円、社債が30百万円減少したことによるものであります。

## ③純資産の部

当連結会計年度末における純資産合計は500百万円となり、前連結会計年度末比で130百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益を145百万円計上した一方で、2020年12月期期末配当金により利益剰余金が18百万円減少したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度に比べ440百万円減少し1,123百万円となりました。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は234百万円(前連結会計年度は148百万円の増加)となりました。

これは主に、法人税等の支払により48百万円、前受金の減少により24百万円資金が減少した一方で、税金等調整前当期純利益の計上231百万円、減価償却費の計上42百万円により資金が増加したことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は42百万円(前連結会計年度は71百万円の減少)となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入により20百万円資金が増加した一方で、無形固定資産の取得による支出47百万円、有形固定資産の取得による支出15百万円により資金が減少したことによるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は639百万円(前連結会計年度は210百万円の増加)となりました。

これは主に、長期借入れによる収入130百万円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出375百万円、短期借入金の純減額300百万円、社債の償還による支出40百万円、シンジケートローン手数料の支払額26百万円により資金が減少したことによるものであります。

## (4) 今後の見通し

依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、国内外の経済活動の減速等が引き続き懸念され、経営環境も不透明な状況が続くと予想されます。

このような情勢の下、当社グループといたしましては、顧客より安全衛生面等のニーズが高まってきておりますので、インターネット媒体を中心に、きめ細やかに対応した各サービスの提案に努め、当社の強みであるサービス品質の高さを訴求していくことで販売の強化を図り、美容室経営企業及び美容師双方の顧客満足度を高めてまいります。

来期の見通しにつきましては、これらを勘案し、次期業績目標は売上高2,364百万円(前連結会計年度比3.5%増)、営業利益268百万円(前連結会計年度比1.3%増)、経常利益245百万円(前連結会計年度比2.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益165百万円(前連結会計年度比14.0%増)を予定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,743,952	1,303,188
受取手形及び売掛金	112,671	106,957
有価証券	20,757	—
たな卸資産	6,266	8,690
その他	142,018	132,487
貸倒引当金	△2,473	△2,181
流動資産合計	2,023,193	1,549,141
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	43,076	45,568
減価償却累計額	△22,785	△27,969
建物及び構築物(純額)	20,290	17,598
機械装置及び運搬具	6,661	6,997
減価償却累計額	△6,591	△6,786
機械装置及び運搬具(純額)	69	210
工具、器具及び備品	51,098	65,331
減価償却累計額	△42,294	△49,431
工具、器具及び備品(純額)	8,804	15,900
有形固定資産合計	29,165	33,709
無形固定資産		
ソフトウェア	76,172	76,116
ソフトウェア仮勘定	3,621	17,062
その他	144	138
無形固定資産合計	79,939	93,316
投資その他の資産		
投資有価証券	38,400	38,577
長期貸付金	9,090	9,090
繰延税金資産	79,346	71,509
その他	129,302	130,031
貸倒引当金	△46,147	△46,228
投資その他の資産合計	209,992	202,979
固定資産合計	319,097	330,006
資産合計	2,342,291	1,879,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	65,114	59,550
1年内償還予定の社債	40,000	30,000
短期借入金	588,000	288,000
1年内返済予定の長期借入金	336,204	243,886
リース債務	8,885	6,099
未払法人税等	32,315	63,029
前受金	261,675	237,013
賞与引当金	49,572	40,530
その他	136,741	133,457
流動負債合計	1,518,508	1,101,567
固定負債		
社債	30,000	—
長期借入金	283,843	131,289
リース債務	6,099	—
退職給付に係る負債	131,267	143,680
その他	1,889	1,690
固定負債合計	453,099	276,660
負債合計	1,971,607	1,378,228
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
利益剰余金	326,341	453,448
株主資本合計	376,341	503,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107	260
為替換算調整勘定	△5,764	△2,790
その他の包括利益累計額合計	△5,656	△2,529
純資産合計	370,684	500,918
負債純資産合計	2,342,291	1,879,147

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,204,720	2,284,070
売上原価	940,636	849,642
売上総利益	1,264,083	1,434,427
販売費及び一般管理費	1,178,086	1,169,568
営業利益	85,997	264,859
営業外収益		
受取利息及び配当金	802	748
為替差益	—	3,115
助成金収入	56,609	21,556
債務勘定整理益	19,830	13,107
その他	1,816	1,211
営業外収益合計	79,058	39,739
営業外費用		
支払利息	21,081	16,146
為替差損	2,467	—
シンジケートローン手数料	900	26,228
上場関連費用	—	6,625
その他	3,732	3,083
営業外費用合計	28,180	52,083
経常利益	136,875	252,515
特別利益		
固定資産売却益	1,334	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	365	1,300
特別利益合計	1,700	1,300
特別損失		
固定資産除却損	0	—
減損損失	—	3,230
関係会社整理損	5,373	—
新型コロナウイルス感染症による損失	65,060	19,346
特別損失合計	70,433	22,576
税金等調整前当期純利益	68,141	231,239
法人税、住民税及び事業税	33,164	79,673
法人税等調整額	111	6,457
法人税等合計	33,275	86,131
当期純利益	34,866	145,107
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	34,866	145,107

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	34,866	145,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	152
為替換算調整勘定	△2,681	2,974
その他の包括利益合計	△2,740	3,127
包括利益	32,125	148,234
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	32,125	148,234
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	50,000	309,475	359,475	167	△3,083	△2,916	356,558
当期変動額							
剰余金の配当		△18,000	△18,000				△18,000
親会社株主に帰属する 当期純利益		34,866	34,866				34,866
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				△59	△2,681	△2,740	△2,740
当期変動額合計	—	16,866	16,866	△59	△2,681	△2,740	14,125
当期末残高	50,000	326,341	376,341	107	△5,764	△5,656	370,684

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	50,000	326,341	376,341	107	△5,764	△5,656	370,684
当期変動額							
剰余金の配当		△18,000	△18,000				△18,000
親会社株主に帰属する 当期純利益		145,107	145,107				145,107
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)				152	2,974	3,127	3,127
当期変動額合計	—	127,107	127,107	152	2,974	3,127	130,234
当期末残高	50,000	453,448	503,448	260	△2,790	△2,529	500,918

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	68,141	231,239
減価償却費	36,454	42,158
減損損失	—	3,230
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,983	△210
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,359	△9,041
受取利息及び受取配当金	△802	△748
支払利息	21,081	16,146
助成金収入	△56,609	△21,556
為替差損益 (△は益)	1,848	△5,270
シンジケートローン手数料	900	26,228
固定資産売却益	△1,334	—
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	△365	△1,300
固定資産除却損	0	—
関係会社整理損	5,373	—
新型コロナウイルス感染症による損失	65,060	19,346
売上債権の増減額 (△は増加)	27,841	5,714
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,104	△2,199
仕入債務の増減額 (△は減少)	△30,296	△5,565
前受金の増減額 (△は減少)	17,035	△24,678
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,238	12,413
その他	42,391	9,306
小計	211,230	295,212
利息及び配当金の受取額	816	765
利息の支払額	△23,174	△14,949
助成金の受取額	56,609	21,556
関係会社整理損の支払額	△557	—
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△63,759	△19,346
法人税等の支払額	△32,174	△48,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,990	234,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	—	20,843
有形固定資産の取得による支出	△2,954	△15,512
有形固定資産の売却による収入	5,908	—
無形固定資産の取得による支出	△33,720	△47,295
投資有価証券の取得による支出	△37,535	—
その他	△3,328	△627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,630	△42,592
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	492,000	△300,000
シンジケートローン手数料の支払額	△901	△26,640
長期借入れによる収入	206,000	130,000
長期借入金の返済による支出	△407,684	△375,464
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
リース債務の返済による支出	△9,174	△8,885
割賦債務の返済による支出	△11,467	△837
配当金の支払額	△18,000	△18,000
その他	△506	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	210,265	△639,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,242	7,416
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	283,382	△440,764
現金及び現金同等物の期首残高	1,280,569	1,563,952
現金及び現金同等物の期末残高	1,563,952	1,123,188

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積りに関して)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が一定期間続くとの仮定のもと会計上の見積りを会計処理に反映しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は不確定要素が多く、翌連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

当社グループは、サロンサポート事業ならびにこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	411.87円	556.58円
1株当たり当期純利益金額	38.74円	161.23円

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったことにより期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

2. 当社は、2021年10月6日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2020年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	34,866	145,107
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	34,866	145,107
普通株式の期中平均株式数(株)	900,000	900,000

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	370,684	500,918
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	370,684	500,918
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	900,000	900,000

## (重要な後発事象)

## (公募による新株式の発行)

当社は、株式会社東京証券取引所より上場承認を受け、2022年2月4日に同取引所JASDAQ(スタンダード)に株式を上場いたしました。この株式上場にあたり、2021年12月24日及び2022年1月17日開催の取締役会において、下記のとおり募集株式の発行について決議し、2022年2月3日に払込が完了いたしました。

(1) 募集方法	一般募集 (ブックビルディング方式による募集)
(2) 募集株式の種類及び数	普通株式 420,800株
(3) 発行価格	1株当たり 1,120円
(4) 引受価額	1株当たり 1,030.40円
(5) 資本組入額	1株当たり 515.20円
(6) 払込金額の総額	433,592,320円
(7) 資本組入額の総額	216,796,160円
(8) 払込期日	2022年2月3日
(9) 資金の使途	①現行「re-request/QJ navi」全面リニューアル、②新規アプリ開発、③ERP導入・構築、④オフィス設備購入、⑤人材投資、⑥既存取引金融機関への融資返済にそれぞれ充当する予定です。